

令和 5年度予算見積調書

課室名：観光課
 担当名：総務・物産・民泊担当
 内線：3950

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P63	伝統工芸を活用した観光誘客			一般会計	商工費	観光費	観光費	彩の国観光振興推進費		
事業期間	令和 5年度～ 令和 7年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	08 0802	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsゴール 8 SDGsターゲット 8-9	
1 事業概要 本県ならではの魅力・観光資源の一つである伝統的 手工芸品の産地・事業者を、民間企業等との連携支援により 活性化させ、新商品や新たな体験型観光コンテンツの 開発による観光誘客・観光消費額の増加、ブランド力の 向上につなげる。 ア 未来につなぐ伝統工芸の魅力アップ支援 2,950千円 イ 新商品や伝統的手工芸品のPR 4,060千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 未来につなぐ伝統工芸の魅力アップ支援 2,950千円 意欲ある産地組合・企業を対象に実践的な勉強会を開催し、参加者を中心に、商品開発・販路拡大等、関 連する企業とのマッチングを支援する。また、伝統工芸産業を支援する企業を登録する。 イ 新商品や伝統的手工芸品のPR 4,060千円 伝統的手工芸品の魅力をPRしプレミアム感を高め、需要開拓や誘客につなげるため、動画による技術や体験施設 の紹介、全国・関東ブロックの工芸品展への出展支援を行う。また、県伝統工芸士の認定や若手工芸士の活躍を紹 介し、作品（商品）や工芸士のプレミアム感を高める。 (2) 事業計画 ア 産地組合・企業を対象とした実践的な勉強会の開催 イ 商品開発・販路拡大等、関連する企業とのマッチング支援 ウ 産地への誘客や新商品の販路拡大をサポートする応援企業の登録 エ 動画による技術や体験施設の紹介、全国や関東ブロックの工芸品展への出展支援、県伝統工芸士の認定 伝統工芸モデル工場の指定、技術継承者育成事業への補助 (3) 事業効果 ア 伝統的手工芸品が観光資源となり、魅力的な作品や工房見学などを目的に、観光客が増加する。 イ 伝統的手工芸品が将来性のある魅力的な産業として継続し、新たな商品・魅力が創出される。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
決定額	7,010							7,010	146	
前年額	6,864							6,864		

事業内訳書

事業名	伝統工芸を活用した観光誘客		
単位事業名	未来につなぐ伝統工芸の魅力アップ支援	予算額	2,950千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	1,350	1,350	勉強会講師謝金 3回分 アドバイザー派遣謝金 3回分
旅費	300	300	勉強会、マッチング支援旅費
需用費	570	570	消耗品、チラシ印刷代
役務費	550	550	チラシ郵送料
使用料及び賃借料	180	180	会議室使用料 3回分
合計	2,950	2,950	

単位事業名	新商品や伝統的手工芸品のPR	予算額	4,060千円
-------	----------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	83	83	伝統工芸士選考委員会委員謝金 6人分

単位事業名	新商品や伝統的手工芸品のPR	予算額	4,060千円
-------	----------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	42	42	伝統的工芸品展視察、モデル工場現地調査
需用費	437	437	消耗品、伝統工芸士認定証等印刷代
役務費	70	70	伝統工芸士認定証等筆耕料
使用料及び賃借料	22	22	会議室使用料 1回分
負担金、補助及び交付金	3,406	3,406	産地組合が実施する技術継承者育成事業への補助金 4団体分
合計	4,060	4,060	